

防災・減災×サステナビリティ大賞（奨励賞）を受賞しました（2026/1/31）

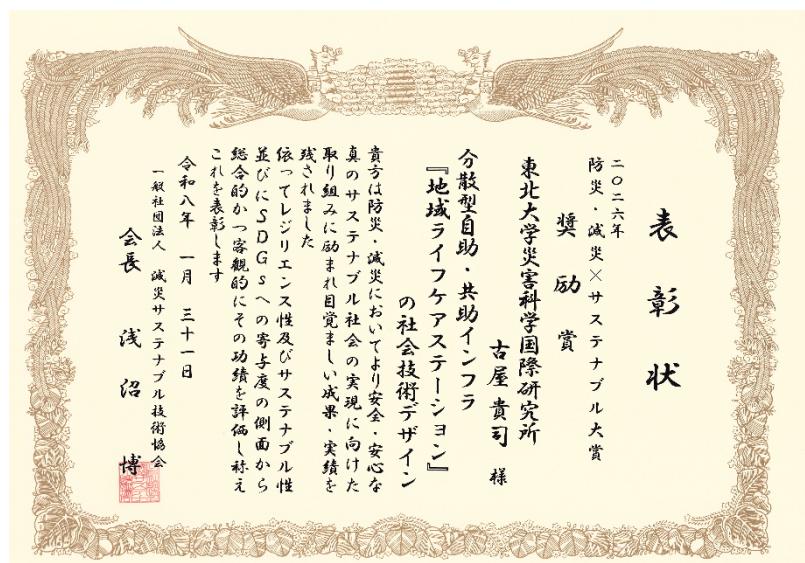
テーマ：DX・GX、地域レジリエンス、フェーズフリー、URA
会場：京橋トラストタワー（トラストシティカンファレンス・京橋 STUDIO2+3）

2026年1月31日、一般社団法人減災サステナブル技術協会が主催する「防災・減災×サステナビリティ大賞2026」の表彰式が行われ、研究推進戦略室の古屋貴司特任准教授（研究力分析担当）が奨励賞を受賞しました。本賞は、レジリエンス性、サステナブル性、およびSDGsへの寄与度の観点から、優れた活動やアイデアを顕彰するものです。

昨年7月の着任後からURA業務の一環として、地域連携や学際研究の社会実装を見据えながら、学内の多様な研究成果を地域課題の解決へと繋ぐ「共創と実装の回路」のデザインおよび構築に向け、学内外のネットワーキングにも注力してまいりました。

受賞対象となった「分散型自助・共助インフラ『地域ライフケアステーション(RLCS)』」の社会技術デザインは、人口減少社会における地域の遊休施設等を核にGX・DX・社会OS等の機能モジュールを柔軟に統合するものです。平時は地域産業等を牽引する活性化ノードとして機能し、非常時には即座にエネルギー・食料・通信等が完結する自律型防衛拠点へと転換する「フェーズフリーな地域レジリエンス」の構築を目指しています。

審査では、「未実装ながらも、地域特性に適応可能なデザインであり、平時・非常時双方に資する地域防災ノードとしての高い持続可能性が期待できる」との評価をいただきました。



賞状

文責：古屋貴司（研究戦略推進室）